

壁の時代

宮古島 クバカ城跡・
狩俣集落の発掘調査

壁の時代

宮古島 クバカ城跡・
狩俣集落の発掘調査

2024年

9/6～9/19

9/25～10/1

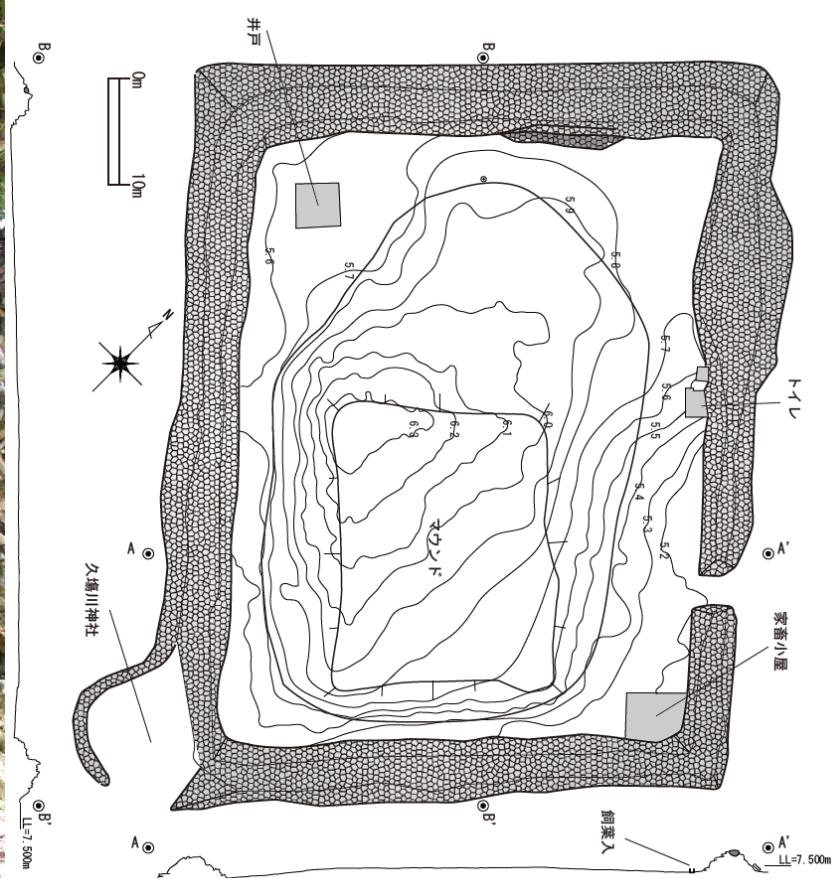
12/11～12/23

企画 石井龍太(武蔵大学人文学部 日本・東アジア文化学科教授)
お問い合わせ 090-6139-2960 ryota.ishii@cc.musashi.ac.jp

武蔵大学図書館 エントランス展示(大学図書館利用者限定)

沖縄県立博物館・美術館 エントランスミニ展示

宮古島市歴史文化資料館 2階展示室



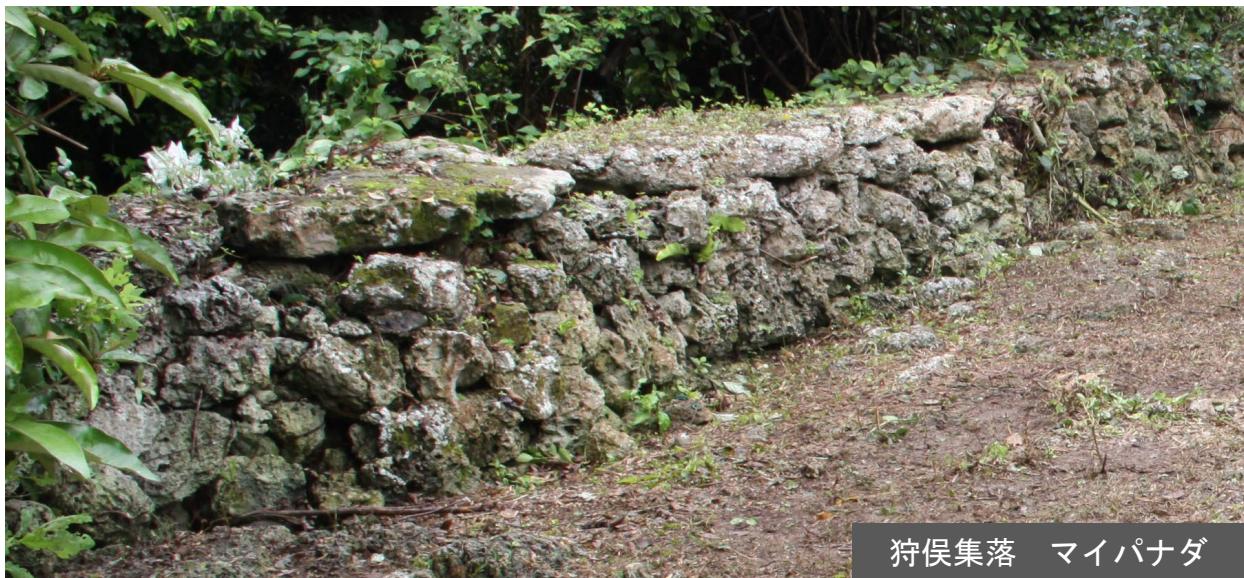
クバカ城跡 平面図

14世紀以降、琉球諸島各地に壁を伴った施設が登場する。沖縄諸島の「グスク」だけでなく、先島諸島にもそれぞれ特徴ある囲壁施設が出現し、共通性と共に、地域毎、遺跡毎の相違点も認められる。その評価を巡って研究者の議論が続けられてきた。どのような壁だったのか、壁が築かれた社会背景は何か、壁の中でどんな生活が営まれていたのか等、論点は多岐に渡る。

琉球諸島のほぼ中央に位置する宮古島には、平坦地に直線的な石積みの壁を築く特徴的な例が存在し注目される。本展示では、企画者が学生達と共に進めて来た宮古島クバカ城跡、狩俣集落の発掘調査成果を起点に、琉球諸島各地に分布する囲壁施設を紹介し、「壁の時代」のはじまりとなった中世琉球史を問い直してみたい。



狩俣集落 ザー出土土器、陶磁器



狩俣集落 マイパナダ



狩俣集落 東辺の土塁

会期	主催	会場	ギャラリートーク (40分)
2024年 9/6~9/19	武蔵大学図書館	武蔵大学図書館 エントランス展示「美大じゃない大学で美術展をつくる vol.2」 176-0011 東京都練馬区豊玉上1-26-1 月-金 9:00-21:00 土 9:00-18:00	2024年9/18水 9:00,10:00 (先着30名)
2024年 9/25~10/1	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県立博物館・美術館 エントランスミニ展示 900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1 火-木・日 9:00-18:00 金・土 9:00-20:00	2024年9/25水 10:00 2024年9/29日 10:00,13:00 2024年10/1火 16:00
2024年 12/11~12/22	宮古島市 歴史文化資料館	宮古島市歴史文化資料館 2階展示室 906-0108 沖縄県宮古島市城辺砂川599 水-日 9:00-16:30	2024年12/11水 10:00,13:00 2024年12/22日 10:00,13:00